

## 史跡 ニツ森貝塚

(読み方) しせき ふたつもりかいづか

(英語) Futatsumori Site

### 【所在地】

青森県七戸町貝塚家ノ前

### 【年代】

紀元前 3,500 年～紀元前 2,000 年 (約 5,500～4,000 年前)

### 【キャッチコピー】

海水性及び汽水性の貝塚が環境の変化を表す集落跡

### 【説明文：97字】

太平洋に続く小川原湖に面した段丘上に立地する大規模な貝塚を伴う集落跡。貝塚では、下層に海水性、上層に汽水性の貝殻が堆積することが確認され、海進・海退による環境変化に適応した人々の暮らしを伝える。

### 【説明文：147字】

太平洋に続く小川原湖に面した段丘上に立地する大規模な貝塚を伴う集落跡。貝塚には、下層にハマグリやマガキなどの海水性、上層にヤマトシジミなどの汽水性の貝殻が堆積し、海進・海退による環境変化への適応を示す。動物の骨や角でつくられた骨角器も多数出土し、なかでも鹿角製櫛は高い精神性と加工技術を伝える。

### 【説明文：245字】

小川原湖に面した丘陵上にある大規模な貝塚を伴う集落跡。平坦部に竪穴建物や貯蔵穴による居住域、その外側に貝塚や墓域が配置されている。貝塚は、丘陵の北斜面と南斜面に形成された。下層にはマガキ、ハマグリ、ホタテなどの海水性、上層にはヤマトシジミなどの汽水性の貝殻が堆積し、海進・海退による環境変化に適応した人々の生活を示す。このほか、魚骨や動物骨、動物の骨や角でつくられた釣針や銚などの骨角器も多数出土している。なかでも精巧に加工された鹿角製櫛は当時の高い精神性と加工技術を知る上でも貴重である。